



上：向井地組合長による年頭の挨拶
左：下山組合長代行による乾杯の発声
右：小林理事による締め挨拶

- JA宗谷南新年交礼会の開催
- JA宗谷南組合員懇談会の開催
- よつ葉「消費者・ユーザー交流研修」
- JA宗谷南女性部感謝祭の開催
- JA宗谷南女性部家庭介護教室の聴講
- 第9回・10回理事会議案等
- 中山間枝幸集落総代会議終了
- 職員資格試験合格者発表

- Aコープ歌登店長い歴史に幕下ろす
- 社会福祉協議会乳製品プレゼント
- 2026 令和8年 世相占う
- 2025 北海道農業10大ニュース
- 認知症を先送りさせる前頭葉刺激の勧め
- マネロン・金融犯罪対策取組強化
- 歌登中心街シンボルツリーの点灯
- JAカレッジ入学生募集

JA宗谷南新年交礼会の開催

令和8年1月6日 組合全体での仕事始めにあたり業務終了後、ニュー幸林を会場に役員8人、職員38人の出席のもと盛会に新年交礼会を開催しました。

出席された方々は、それぞれ思い思いに今年の抱負など語り合いながら輝かしいスタートを切りました。

向井地組合長からの年頭挨拶で昨年中の業務のお礼と、昨今の酪農情勢などまた、コンプライアンスについても触れ、まずは今年も健康に留意され業務に邁進して頂きたいと話されました。

続いて、下山組合長代行より、「今年もよろしくお願いたします。」と、乾杯の発声により会が始まり、料理に箸がつけられお酒なども美味しく頂きました。

余興では、職員互助会が担当し互助会からの景品の提供、また役員親交会、宗谷南法人会からも景品の提供があり、抽選会での番号発表に一喜一憂しながら大いに盛り上がりました。

最後は、小林理事による「今年も頑張りましょう。」と一丁締めにて令和8年新年交礼会がお開きとなりました。





組合員懇談会

令和7年11月17日
in:酪農振興センター



組合では、11月17日に『組合員懇談会』を酪農振興センターで開催しました。当日の出席組合員20人、役員8人、職員7人により午前10時から開始された。

開会にあたり向井地組合長からの挨拶が行われ、この度の開催の趣旨は、令和8年度の営農計画作成要領とAコープ店舗の閉店と店舗併設のATMの閉鎖関係についての説明となりますと述べたあと、酪農情勢は、畜産クラスター事業の現状と北海道の酪農家戸数の減少に対する新規就農対策やヘルパーの人員対策など厳しい現状と離農跡地の遊休農地対策、労働力確保のための雇用対策など問題が山積されているが、将来の経営を見通しながら育成牧場を有効活用し分業体制を作り生乳生産を基本とする生活の安定を確保して頂きたい。今後4～5年後には10戸の経営中止希望者がおり、組合員減少の中での組合運営となり職員も過剰に増やすことの出来ない状況となり、不採算部門については、組合員の負担に直結してくるので効率的な組合運営を目指し、組合員負担の軽減に努めて参りたいと述べ、本日の議題説明と質疑応答を行いました。

営農計画作成については、授精頭数の減少のほか、関連資材、燃料等の高騰も踏まえ授精料の値上げを理解して頂きたい。出資予約貯金については、当初設定の0.7%に戻す事とし、出資金の増資に協力願いたい。

Aコープ及びATM閉鎖のスケジュールについては、常に部門別収支で赤字となっており累積赤字も億単位の中、セルフレジの導入や店内へATMを併設したり合併当初から様々な対策を講じてきたが人員問題などもあり不便をおかけするが7年度末での店舗閉店、ATM閉鎖にご理解願いたい。

なお、米、たばこ、酒については、定期配送出来るよう検討しています。

将来、クラスター事業により規模拡大も方法ですが、増築して工夫すれば増産も可能となります。離農が増える中、何とか搾乳量は生産したいと考えております。ロボット搾乳に特化されずに人の雇用も視野に入れ、土地の有効利用により経営の継続を強く望みたいと閉会の挨拶としました。





北海道のおいしさを、まっすぐ。

よつ葉

よつ葉乳業(株)

「消費者・ユーザー交流研修」 令和7年11月5日~7日



この事業は、「2025年度次世代サポート酪農研修事業」の一環としてよつ葉乳業(株)で取組んでいる事業です。

目的は次世代を担う酪農生産者の皆様に、消費者やユーザーとの交流を通じて国産乳製品の必要性や酪農業の重要性についての理解を深めるための事業です。

当組合からは、酪農生産者の「樋口睦美女性部部长」と運営協力委員の「下山勲 理事」の2人が2泊3日の日程で参加して来ました。

主な研修内容は「辻調理師専門学校生徒との意見交流会」、「よつ葉東京支店営業職員との意見交流会」、「スーパー市場視察」「消費者との交流」「参加者懇親会」「ユーザーとの意見交流会」

参加の二人からは、色々な立場からの意見が聞けて大変参考になったようです。



J A 宗谷南女性部 感謝祭の開催

J A 宗谷南女性部では、11月28日振興センターにおいて日頃の感謝を込めて懇談会と生活工夫展をひとつにした「感謝祭」を初めて開催した。

当日は、部員11人が参加し、自慢の工芸作品のお披露目と持ち寄った食材・料理が振舞われ、展示された作品の出来栄の苦労話などが、語られていました。

作品では、「ポーセラーツ」と言う白磁器にシール感覚で使える転写紙や専用の絵の具を使ってオリジナルの食器や雑貨を作るハンドメイドアート作品が多く出展されておりました。

また、その後の昼食時には、お弁当を囲み、本日持ち寄られた食材も試食しながら今年1年を振り返りながら話に花が咲き楽しい一日を過ごしました。



J A 宗谷南女性部 家庭介護教室の聴講

J A 宗谷南女性部は、11月27日日本所会議室において北海道中央会（J A 健康寿命100歳プロジェクト）主催による誰でも安心して暮らせる地域づくりを目指した活動の一環として開催され、家庭介護教室を受けた。

当日は、ウェブによる開催でしたが、研修内容は、以下の通りです。

- ① 高齢者の皮膚が傷つかないように必要なこと
 - ② 高齢者のスキンケアと適切なオムツ選び
- と、二つの講義を聴講しました。

参加された部員の皆さんは、自分たちは認知症にはならないようにと、祈っていました。



第9回理事会 開催日:令和7年12月1日

【決議事項】

1. 出資金減口の承認について
2. 生活応援特別支援の支給について
3. ㈱アグリサポート枝幸との

除雪業務委託契約について

【監査関連報告事項】

1. 内部監査報告について
2. 内部監査受託に係る報告について

【報告事項】

1. 10月末クミカン実績対比について
2. ㈱アグリサポート枝幸

第3四半期実績報告について

3. 組合員の異動状況について

4. 10月末各部署取扱高及び実績報告について

5. 令和7年度決算見込(10月末基準)について



第10回理事会 開催日:令和7年12月26日

【決議事項】

1. 資金の貸付について
2. 令和7年度クミカン精算見込について
3. 令和8年度営農計画設定契約について
4. 理事のクミカン取引金額について
5. 出資金減額の承認について

6. ㈱アグリサポート枝幸の定款変更について

7. ㈱アグリサポート枝幸の取締役候補者について

8. ㈱アグリサポート枝幸の「ファームAYNI」の

営農計画設定契約について

【監査関連報告事項】

1. 第3四半期監事監査報告について
2. 内部監査報告について

【報告事項】

1. 令和7年9月末マネロン対策取組状況について

2. 理事の供給限度額の変更報告について

3. 組合員の異動状況について

4. コンプライアンス事故報告について

5. 11月末各部署取扱高及び実績報告について

6. 貸付金実行報告について

7. 令和7年度決算見込(11月末基準)について

8. 農地・育成就労・就農対策支援室からの

現状報告について

令和7年度中山間地域等直接支払制度 第6期中山間枝幸集落総代会議終了

すでに中山間事業は、平成12年より5期25年（枝幸集落・歌登集落含め）が経過し、令和7年から第6期がスタートしました。

6期目からは、今までの全体会議制から農業地域協議会会長会議を経て総代会制とすることに同意があり各地域協議会からの総代として始まりました。

令和7年12月1日に総代会議が開催され、第1号議案「規約の承認」第2号議案「第6期における事業計画、共同取組の承認」第3号議案「令和7年事業計画の承認」第4号議案「令和7年収支計画の承認」のすべてが全会一致で承認されました。

今後5年間に亘っての第6期中山間について総代会の皆さんへの協力をお願いし終了しました。

なお、役員については、代表向井地信之、副代表下山勲、理事高橋壮治、小野寺俊一、吉田明彦、小林政夫、筒井正道、監事平田勝一郎、山岸也須彦の各役員となりました。



祝 合格
おめでとうございます

JA職員資格試験合格者発表

令和7年下記職員が「上級」資格試験に見事合格しましたのでお知らせします。

金融共済部
金融推進係
「武田蓮美」さん

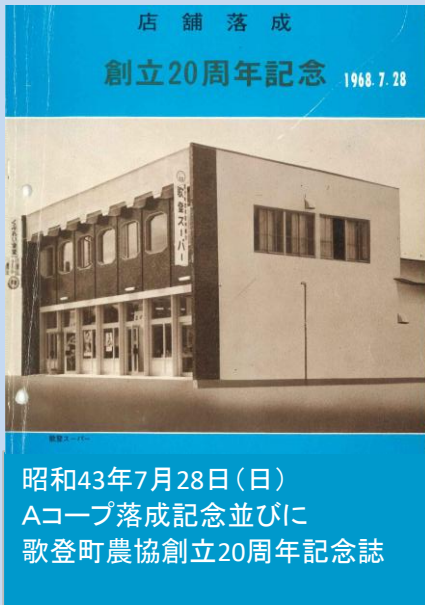


【Aコープ歌登店長い歴史に幕下ろす】

JA歌登町（のち歌登）から平成21年3月の合併によりJA宗谷南となりましたが現在のAコープの建物になって57年余りとなり、その間、組合員の皆様、町民の皆様には、常日頃よりご愛顧頂きました事に心より厚くお礼申し上げます。

組合員や町民からの強い要望により当時の工事費19,363千円を費やし新店舗を建築致しました。2階には食堂、美容室、理容室も併設し、組合員の利便性に重視した施設として大変賑わいを見せていましたが、人口の減少、建物や設備の老朽化が追い打ちをかけ苦渋の決断の選択を余儀なくされました。

支所金融の閉鎖も含め寂しくはなりましたが、何卒ご理解を賜りたく今後も当組合に対しまして変わらぬお引き立て頂きますよう宜しくお願い申し上げます。



「枝幸町社会福祉協議会へ 乳製品セットプレゼント」

当組合では、昨年に続き枝幸町社協の歳末助け合い運動に合わせ対象世帯に乳製品セットをプレゼントしました。

今回の対象世帯は、枝幸・歌登地区合わせて22世帯で、年末年始に安心して過ごしてもらいたいという趣旨に賛同しての贈り物です。

この取組みは、牛乳・乳製品消費拡大にも繋がることから実施していますが、対象世帯から感謝が寄せられ温かい心遣いに大いに喜ばれていました。



2026年 令和8年 世相占う

日本はどうなる？

東洋の暦で見ると、2026年は丙午の年。太陽を象徴する「丙」のエネルギーに満ちた1年になります。60年に一度巡ってくるこの特別な年は、日の丸の国旗を持つ日本にとって大きな転換点となるでしょう。日本が世界の中心となるような出来事に巻き込まれたり、同時に世界へ向けて力強く何かを発信していく年になるかも知れません。

一方で、太陽の光が強いほど影も濃くなります。防衛面の脆弱性、サイバーセキュリティの問題など、日本が改善しなければならない課題も浮き彫りになるかもしれません。

丙午の年は、歴史的に女性が大きく活躍する年とされてきました。2026年は「女性初の〇〇」というニュースが日本中を駆け巡る1年になるでしょう。

政治の世界では、女性初の総理大臣・高市早苗さんをはじめとする女性政治家の動向が注目され、女性知事や市長の誕生が相次いだり、既存の権力に挑む女性の姿も増えそう。

ただし、60年前の丙午の年がそうであったように、出生率の低下が懸念されます。女性の社会進出が加速する一方で、出産や育児との両立が課題に。少子化対策や子育て支援制度の充実がこれまで以上に重要なテーマになるでしょう。

経済はどうなる？

2026年の経済は、激しい浮き沈みが予想されます。投資家にとって慎重な判断が求められる1年になりそう。太陽がテーマの年であることから、太陽光発電やメガソーラーの環境問題などこれまで見過ごされてきた課題が表面化する可能性があります。気候面でも、極端な日照りや冷夏など、太陽の影響を強く受ける年になりそう。農作物の生育に影響が出れば、食料価格変動にもつながります。

金（ゴールド）価格は引き続き上昇傾向。火のエネルギーが強い丙午の年は、五行思想では「火剋金（かこくきん）」となり金が溶けないように強くなろうとします。そのため金価格は史上最高値を更新する可能性も。ますます金の需要は高まるでしょう。

運を上げるものは？

太陽の年なので、伊勢神宮をはじめとした、天照大御神を祀る神社への参拝は、運を高めるのもっとも効果的な方法です。太陽のエネルギーを感じられる朝の時間帯に参拝するのがおすすめです。また「お天道様」が名前の由来となったテントウムシのアクセサリーや東京タワーのように赤い三角すいのモチーフのものに強いパワーが宿るでしょう。

ラッキーカラーは、赤・黒・白。この三色のコントラストを取り入れたファッションやインテリアが注目を集めます。カプレーゼ（イタリア料理の前菜のサラダ）がラッキーフードに。

数字では、「1」「3」、アルファベットでは「A」「C」「K」「M」「U」「W」のつくものや人、企業が注目を集めそうです。



北海道農業ジャーナリストの会が選んだ 2025年北海道農業10大ニュース

- 第1位 【政府備蓄米放出を発表】
店頭で米不足を受けて当時の江藤農相が2月一般入札による放出を表明。6月以降は、小泉農相が随時契約に切り替えた。5キロ2,000円台で販売する意向を示しコメ市場に介入する姿勢を鮮明にし備蓄米を販売した。
- 第2位 【概算金上昇 米高値続く】
米価高騰による集荷が続く中、25年度産のJA概算金は全国的に引上げられ、ホクレンも主要品目で60%当り12,500円程度増額した。店頭価格は4,000円台が続く一方、次年度6月末の民間在庫量は214万トン～228万トンとなる見込みで需給緩和の見方も強まっている。
- 第3位 【水田政策再び見直し】
農水省は、27年以降の水田政策を根本的に見直す。転作助成である「水田活用の直接支払交付金」を作物ごとの支援に転換し、23年から要件としていた「5年に1度の水張り」求めない方針だ。

《令和7年は、1位～3位まで米の話題が独占》

- 第4位 【道内農業経営体3万割れ】
5年に1度の「農林業センサス」の結果がまとまり北海道の農業経営体数は、2万9025となり5年前に比べ16.9%減少した。
- 第5位 【新たな農業基本計画を決定】
今後5年間の国の農政指針「主要穀物などの主産地」として北海道を初めて明文化し、小麦、テンサイ、生乳など6品目の主な産地と位置付けた。
- 第6位 【ヒグマ出没で被害相次ぐ】
道内外で熊による人や農作物への被害が急増。道も「ヒグマ警報」を出し、政府は被害防止へ対策パッケージをまとめた。
- 第6位 【食料システム法成立】
農畜産物の適正な価格形成に向けた関連法。指定品目で価格交渉に使うコスト指標を作成。売り手と買い手に価格交渉へ誠実に挑むよう努力義務を課す。
- 第6位 【トランプ関税発動】
米国トランプ政権が8月、日本に対する15%の「相互関税」を発動。11月には、大統領令に基づき牛肉や緑茶など一部品目が対象外となった。
- 第9位 【参院選で東野ひでき氏当選】
JAグループの組織内候補として比例代表で初当選を果たした。自民党が苦戦する選挙戦を勝ち抜き、同党の比例代表で4位となる19万票を獲得した。
- 第10位 【有塚利宣組合長（JA帯広かわにし）逝去】
30年以上の長きにわたりJA組合長を務め、93歳で亡くなった。「十勝川西長いも」のブランド化に尽力し、地元十勝や道農業の発展に貢献した。
- 第10位 【節水型乾田直播（ちょくはん）が拡大】
水を張らずに走り水程度で水稻を栽培する方法。道内でも拡大している。移植栽培に比べて労働時間や機械コストを大幅に削減できる。

認知症を先送りさせる前頭葉刺激習慣のすすめ



第3弾 刺激の宝庫・新聞との付き合い方

ヒント1 「調べ、考えながら読む」

重要なことは、ただのんびんだらりと新聞を読み進めるのではなく、分からないことが出てきたらそのまま放置せず何らかの方法で調べて答えを見つけることを心がけましょう。

今は、調べるにはスマホが簡単で便利ですが、難しくても頑張って読み、考えて理解し自分のものにすると世界が広がります、

ヒント2 「比べながら読む」

大きなニュースは各紙で比べて読むことは、結構、味深いものです。テレビより新聞は、はるかに論調の違いが際立っています。また、新聞には「社説」があり、各社のエキスパートが書いており記事以上にその社の姿勢が打ち出されています。

このようにいくつかの新聞を読み比べる事で、1紙だけでは気づけない考えも分かり、ものの見方の多様化につながります。ただし、現実的には複数購読は難しいので工夫を凝らして考えましょう。

ヒント3 「声に出して読む」

脳のトレーニングには、新聞記事の音読がおすすめです。黙って読んでいると、言葉は、脳で文字と認識され、言葉の意味を理解して終わりです。しかし声に出して読むことは、前頭葉を活性化させます。記憶や情報を組み合わせて自分なりの考えを導きだす機能を高めるます。音読に適してるのは、1面のコラムで道新であれば「卓上四季」でこのコラムに抑揚をつけたり情感を込めて読んだりするのに適しています。文字を追って読むと意味は理解できます。自分の文章を書く時も役立ちます。

ヒント4 「読むだけでなく「参加」する」

新聞は、ニュースだけでなく脳トレクイズ、クロスワードパズル、間違い探しから俳句・短歌・川柳の投稿、プレゼントまで読者参加型の仕掛けがたくさん詰まっています。これらはギャンブルと違い依存症となっても実害はないので是非参加して下さい。クイズ、クロスワード、間違い探しは脳をとっても使い達成感も大きい、そして投稿欄は、自分の投稿が採用されるとうれしいものです。ハガキ1枚で参加可能な読者投稿欄はイチオシです。

ボケ防止というレベルを超えて「自分は賢くなるぞ」の意気込みで新聞に参加してほしいと願います。新聞代の元を取りましょう。

ヒント5 「スクラップをする」

関心のあるテーマについては、記事をスクラップして見て下さい。テレビニュースでは難しい事ですが、新聞ならスクラップ出来るし、記事の切り取りは手先を動かすのにも良いことです。身も蓋もない言い方ですが、年を取ると手でも口でも頭でも何でも使わないと劣化します。要は老化を食い止めるためにいろいろ使いまくれと言う事です。

スクラップは、前頭葉を鍛える「アウトプット」に役立ち、記事を読んで理解するのは側頭葉です。自分からの発信などにスクラップは大変役に立ちますの是非、挑戦してみてくださいは如何ですか！



金融機関の マネロン対策を 装った詐欺に ご注意ください



重要説明

マネロン・金融犯罪対策への取組強化について

令和7年12月22日
代表理事組合長 向井地 信之

最近、様々な金融犯罪が発生し、その手法や手口も巧妙かつ高度になってきています。新聞等での報道を見て心配に感じておられる組合員・利用者の方々も多いのではないかと思います。また、国際的に金融機関が取り組まなければならない課題として、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策（以下「マネロン対策」）の重要性が益々高まっています。マネロン・金融犯罪対策に取り組むことは、信用事業を営む当組合の責務でもあります。

当組合では、金融機関としての信頼性を確保するため、そして、お客様の大切な財産を金融犯罪からお守りするために、マネロン・金融犯罪対策の取組みを重要な経営課題と位置づけて、一層力を入れて取り組むことといたします。

このたび、金融共済部の川合課長をマネロン・金融犯罪対策リーダーに任命し、組合全体としての取組みの定着化・高度化に向けて、職員の先頭に立って取組みを進めよう予定です。私を含め常勤理事もマネロン・金融犯罪対策が組合内で徹底されるよう指揮のうえ、組合員・利用者の方に安心して当組合を利用いただけるよう取り組んでまいります。

JAへの就職希望者 100%就職内定 (令和7年度実績)

令和8年度入学生 第3回募集

- 定員40名 ●男女共学 ●1カ年
- 寮完備(個室)/通学可
- 受験資格:満27歳未満(令和7年4月1日現在)/大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日:令和8年2月15日(日)
- 願書受付:令和8年1月6日(火)~1月23日(金)18時迄
- オープンキャンパス随時開催中

【お問合せ・資料請求】

JAグループ職員養成校



一般財団法人
北海道農業協同組合学校
〒069-0834 江別市文京台東町 43-1
☎0120-918-417【JAカレッジ】で検索



今年も、歌登のシンボルツリー約7.5mのエゾマツにイルミネーションが飾られ夜の街の中心部を柔らかな光で彩られています。これは枝幸町民の有志により続けられており、今冬で16季目となります。3月末まで17時から23時まで点灯しています。